

平成 15 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 東和メックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀江義光
(コード番号 6775 東証第 2 部)
問合せ先 経理部長 佐藤武雄
(TEL . 03 - 5684 - 2321)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 16 日の決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 16 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3 , 9 0 0	2 5 0	2 0 0	2 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	3 , 6 0 0	1 9 0	5 0	5 0
増 減 額 (B - A)	3 0 0	6 0	1 5 0	1 5 0
増 減 率 (%)	7 . 7 %	2 4 . 0 %	7 5 . 0 %	7 5 . 0 %
(ご参考) 前期実績 (平成 14 年 9 月期)	3 , 7 3 0	3 1 6	2 8 2	3 1 9

- 2 . 平成 16 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)
(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4 , 1 0 0	2 7 0	2 2 0	2 2 0
今 回 修 正 予 想 (B)	3 , 8 0 0	1 6 0	2 0	2 0
増 減 額 (B - A)	3 0 0	1 1 0	2 0 0	2 0 0
増 減 率 (%)	7 . 3 %	4 0 . 7 %	9 0 . 9 %	9 0 . 9 %
(ご参考) 前期実績 (平成 14 年 9 月期)	3 , 9 2 9	3 2 7	2 3 4	2 6 6

3. 平成 16 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,000	600	500	500
今 回 修 正 予 想 (B)	7,800	540	340	320
増 減 額 (B - A)	200	60	160	180
増 減 率 (%)	2.5%	10.0%	32.0%	36.0%
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 3 月期)	6,912	464	406	504

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 5 円 58 銭

4. 平成 16 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,400	650	550	550
今 回 修 正 予 想 (B)	8,200	520	320	300
増 減 額 (B - A)	200	130	230	250
増 減 率 (%)	2.4%	20.0%	41.8%	45.5%
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 3 月期)	7,331	445	332	425

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 5 円 23 銭

5. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては海外向けは米国における価格低下および新製品の市場投入の遅れにより、また、国内向けは販売単価の下落の影響によりともに当初計画を下回るものと見込んでおります。

利益面では、営業利益は海外向けの価格競争激化による粗利益の減少や全体的な売上低下による利益減、また、経常利益および当期純利益につきましては 9 月中旬から下旬にかけての急激な円高による為替差損の発生により単独・連結ともに大幅な下方修正を行うことになりました。

下期につきましては海外向け新製品が売上に寄与するものと見込んでおりますが、収益面では新製品の開発費負担増により若干下回るものと見込んでおります。

なお、通期見込みににつきましては上期の業績見込みが影響し単独・連結ともに当初計画を下回るものと見込んでおります。

* 上記記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

* 本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上